

大学院留学生としての研究経 験を踏まえて

於：社会福祉第68回秋季大会・国際ワークショップ
所属：城西国際大学
発表者：茆 海燕

今日の発表内容

- 1、博論の概要
- 2、博論の研究プロセス
- 3、各段階における研究の心得
- 4、まとめ～博論研究における大切なこと～

1、博論の概要

・テーマ

中国農村部における村幹部の地域高齢者に対する支援役割と機能
～江蘇省A鎮の調査をもとに～

・目的

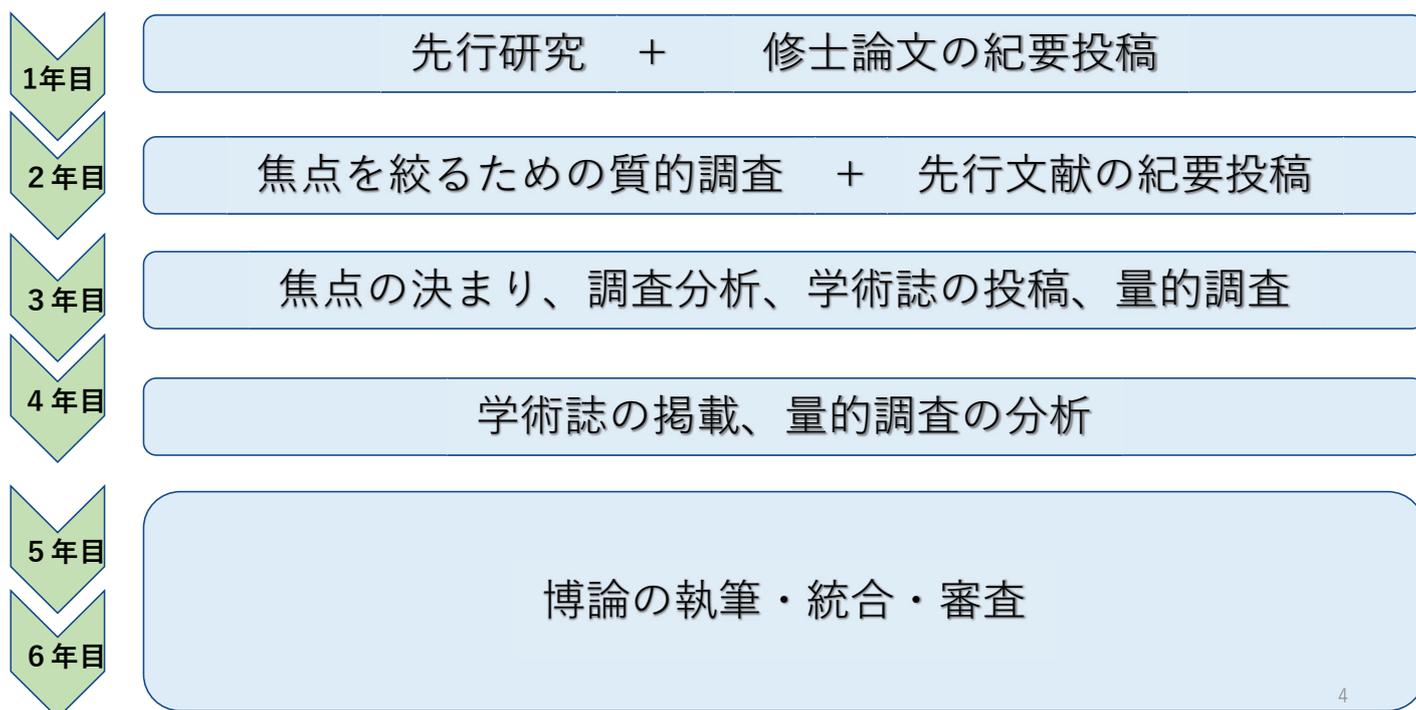
中国農村部において、村幹部による地域高齢者への支援実態とその影響要因を明らかにする。そのうえで、村幹部の役割・機能について考察する。

・論文の章立て

序章	(研究背景、研究目的、研究方法、研究意義、論文構成)
第1章	中国農村部における社会保障制度実施上の課題と農村部高齢者に関する生活課題
第2章	中国農村部における村幹部の歴史的変遷と仕事および役割
第3章	中国農村部の高齢者に対する村幹部の支援実態および役割・機能～インタビュー調査をもとに～
第4章	農村部高齢者に対する村幹部の支援実態および影響要因～質問紙調査をもとに～
第5章	総合的考察
終章	(結論、課題)

3

2、博論の研究プロセス



4

3、各段階における研究の心得

➤ 1、2年目～先行研究、修士論文の紀要投稿

• 修論と博論の研究テーマが異なる場合

- **ゼロ**から先行研究を行う（農村部高齢者、村幹部）
- 幅広く（制度、生活、歴史）、**大量的**に論文精読
- 随時にアウトプット、**論文の形にまとめる**（2年目に紀要投稿、そのまま博論に持ってくるように）

• 修論の投稿は1年目にする
 • 中国のデータベース：中国知網（5730図書館）

• 中国のことを研究テーマにする場合

- なぜこの研究テーマをするか
- この研究に関する中国の現状、実態はどうなっているか
- 中国の社会体系、行政体系、制度体系…

日本語の翻訳も

• 難点

- **社会保障制度、高齢者の生活課題、村幹部の歴史的変遷…軸**
- **膨大な先行研究はどうまとめるか** • **焦点を定まらない**

➤ 2、3年目～焦点を絞るための質的調査、先行文献の紀要投稿

- 最初の焦点：中国農村部高齢者に対する支援システムの構築（制度、家族、地域…）

先生達のご指導が重要



やりたいこととやれることのたたかい

中国での調査フィールド

- まず、地域リーダーは、高齢者にどう支援をしているか



インタビュー調査
 （6名主幹村幹部を対象に、半構造化、個人インタビュー）

質的データの分析
 （GTA、M-GTA、KJ法、佐藤郁哉の質的分析法…）

困る



データを得た後に、分析方法を考えるのではなく、分析方法をイメージした上で、インタビュー調査をするのがお勧め

- ① 質的分析、お金・時間かかる
- ② 生データの適切な翻訳
- ③ 指導時、ICレコーダーによる録音、その後の振り返り
- ④ **先生、学友のコメントが大切**

- 学内の質的分析プロの先生よりご指導 → **適切な分析方法を決める**（KJ法）
- 学外のKJ法の専門的SVを受ける → 霧芯館—KJ法教育・研修— 自費で受けた
- 質的分析結果をまとめ、学術誌への投稿（投稿から掲載まで、1年間を目安）

➤3、4年目～焦点の決まり、質的調査の分析・学術誌投稿、量的調査

・インタビュー調査によって博論の焦点を絞った

最初：中国農村部高齢者に対する支援システムの構築

➡中国農村部における村幹部の地域高齢者に対する支援

・村幹部は地域高齢者に対する支援の実態および影響要因

調査できるまでの
事前準備が大切

量的調査（村幹部全員を対象に、質問紙調査）

研究助成
金の申請

- ・ 質問紙調査項目の作成（質的調査結果に基づいて作成）
 - ・ 学内の量的調査プロの先生よりご指導
 - ・ 質問紙項目の妥当性、分析方法を含める真剣に検討（2度調査ができないため）
 - ・ 調査直前、中国の村幹部のご意見により、質問紙の修正
 - ・ 調査方法、回収方法、有効回答の確保のためのチェック
- ※中国の方は調査に慣れていないため、工夫が必要！！

データ入力、SPSSによるデータ分析、適時に結果をまとめ

枠組みに沿って
分析をする

➤5～6年目、博論の執筆・統合・審査

・博論の全体構成

目次の検討、論文全体の論理的展開（ロジック）

・博論の執筆

- ・ 耳を伏せき、とりあえず書くことに集中
- ・ 各章の枠組みに沿って書き、章ごとに完成する
- ・ 全文における用語の統一、各章・節前後のつながり
- ・ データのバックアップ（USB）
- ・ 研究の環境（学校の研究室）
- ・ ストレスの解消、リラックス方法
- ・ 長期休暇（夏休み、春休み）の活用（非常に効果的）
- ・ 2章分の内容は投稿論文をそのままに使う（楽）

- ①博論全体の構成は長い時間で指導を受けた
- ②全体構成を決めた後に論文を執筆する
→論文の調整が楽

・博論の審査

- ・ 外部審査先生の依頼（主指導教員との相談）（学内3人、学外1人計4名）
- ・ 審査先生のご指摘を丁寧に答える（学術投稿論文のように答えた）
- ・ 審査先生とのやり取りの中には、どう修正するか（ポイント）、限られる時間の中に修正できる箇所・修正できない箇所をはっきり確認する
- ・ 公聴会を丁寧に準備（研究課題には、素直に答える）

録音、
振り返り

4、まとめ～博論研究における大切なこと～

1、先生達のチーム指導

- 主指導教授～論文全体の構成
- 副指導教授～量的調査1名、質的調査1名
- 外部審査先生～中国のことを指導いただく
- その他の先生達～投稿論文のチェック、論文構成など

・多くのゼミ参加
・長年の論文指導
・先生との指導関係
(人生の宝)

2、学友達からのサポート

- 日本人の学友
適切なご指導、ゼミ後の振り返り、日本語の修正…
- 中国人の学友
中国の情報共有、ストレス解消…

人生の財産

3、研究環境

- 研究場所の確保
- 経済・時間の確保（研究とアルバイトのバランス）
- 家族からの支え

恵まれた環境

4、研究能力 課題一つずつをクリアし、研究の力を身につけていく

必死に勉強